

第二次南北回廊北部区間道路改修のため1.74百万ドルの無償資金協力を署名

我が国は、南北回廊のうちマクティとヘルズ・ゲート（マナプールズ分岐点）間の第二次道路改修を1.74百万米ドル（23億8,900万円）をもって支援します。

8日、ムトゥリ・ヌーベ財務・経済開発・投資促進大臣、山中伸一駐ジンバブエ日本国大使、古田茂樹国際協力機構（JICA）ジンバブエ支所長により、交換公文及び贈与契約の署名・交換等が行われました。

このプロジェクトは、JICAの監理のもと、運輸・インフラ開発省道路局により実施されるものです。

南北回廊はジンバブエと近隣諸国間の地域貿易に不可欠な国際幹線道路であり、AUは2040年までに大陸で最も交通量の多い輸送回廊の一つになると予測しています。南部アフリカ開発共同体（SADC）やアフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）を通じた地域経済統合が進められる中、近隣諸国との貿易促進は一層不可欠なものとなっています。

南北回廊のうち、マクティとヘルズ・ゲート間は、急勾配な上にヘアピンカーブがあり、チルド国境を経由する大型トラックの増加も相まって、交通事故発生率が高く南北回廊の大きなボトルネックとなっています。我が国の資金供与により実施された第1次道路改修では、マロンゴラとヘルズ・ゲート間の6.5kmの区間が改修され、2021年5月にムナンガグワ大統領の臨席のもとで開通式が行われました。

第二次道路改修では、これに接続するマクティとマロンゴラ間の7.8km区間について、カーブ区間の道路拡幅、縦断勾配等の改善、登坂車線の建設のほか、排水設備やガードレールや道路標識などの安全施設の設置が行われます。質の高いインフラ投資（QII）の原則を取り入れ、道路改修に伴う環境影響を最小限に抑えつつ強靱な道路とすることでライフサイクルコストが考慮され、将来にわたり、経済的かつ効率的にその機能を果たすこととなります。

加えて、交通安全対策、道路改良、維持管理に関する我が国の専門知識の共有により、当国道路局職員の能力強化も図られる予定です。

本プロジェクトの目的は、交通事故の減少、交通渋滞の緩和を通じて、所要時間を短縮することであり、同区間の所要時間は約9分短縮され、事故件数は現在の年間61件から10件に減少し、安全でスムーズな通行が可能になるとともに、年間約61万人の旅客と約518万トンの貨物の輸送能力が向上することが見込まれています。

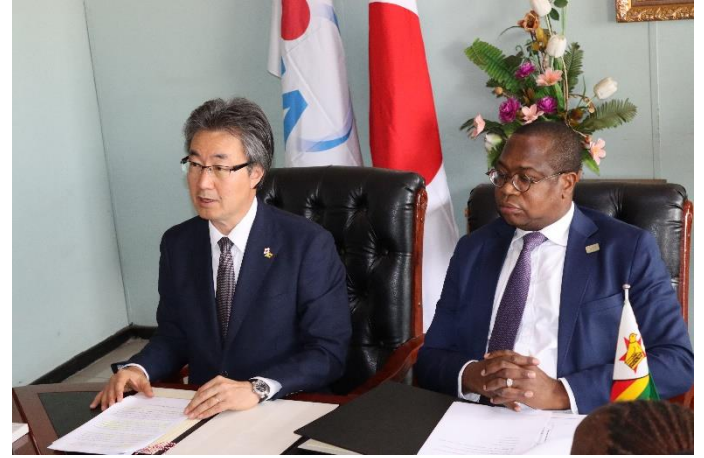
南北回廊のボトルネックの1つが解消されることにより地域の貿易と統合が促進され、ジンバブエの経済社会の発展が促進されることとなります。

また、南北回廊のもう一つのボトルネックであるチルド国境における物流遅延を緩和するため、現在、JICAが、税関・入国管理局、その他の国境職員の能力強化や国境関連事務の効率化を図るプロジェクトも実施しています。

我が国は、QIIの原則を取り入れつつ、当地域の経済統合を改善するとともに、ジンバブエの持続可能な成長と発展に大きなインパクトを与える強靱なインフラ整備を引き続き支援していくこととしています。



署名式会場全景



山中大使挨拶



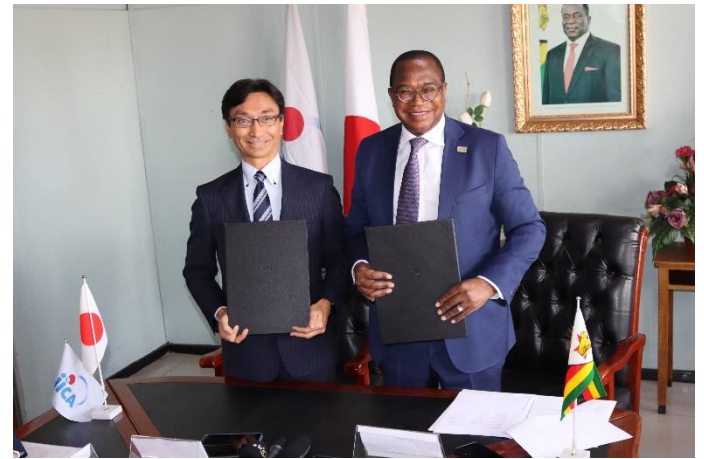
交換公文への署名



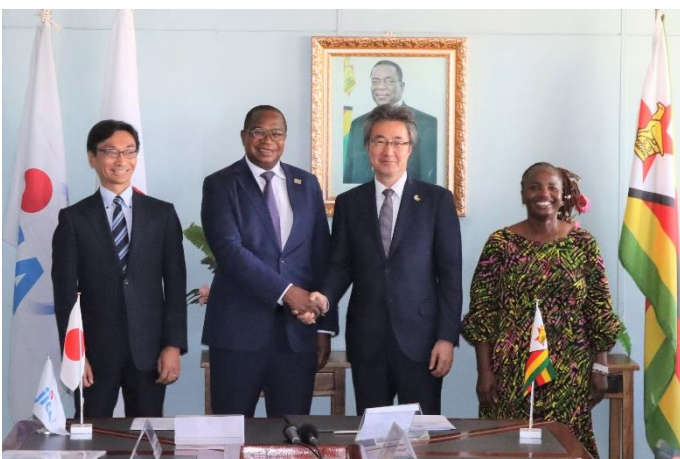
交換公文の交換



贈与契約への署名



贈与契約の交換



署名者集合写真



第一次道路改修区間